



愛 & 絆 ガンバロー!! そのき 曾野木地区コミュニティ協議会だより

第11号

令和4年1月1日



事務所：新潟市江南区天野2丁目7番2号 曾野木地区センター3階 TEL/FAX 025-280-4175
ホームページURL⇒<https://sonoki-comikyo.1net.jp/>

曾野木地区人口：10,273人 世帯数：4,345世帯 令和3年10月末現在（住民基本台帳による）



桜田会長

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年も皆様にはコミュニティ協議会の活動に対しまして、多大なるご支援ご協力を賜りましたことをこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

昨年は、「デルタ株」の影響で感染が急拡大し夏場には第5波が猛威を振り各方面に大きな影響を与えました。そんな中であって、東京五輪の開催、総選挙、岸田内閣の誕生、大雪による自然災害や痛ましい事件など、多くの出来事がありました。当コミュニティ協議会も、その影響を受け各種まつりを始めとするイベントが軒並み中止となり皆様に大変ご迷惑をおかけ致しました。そんな中、感染症拡大防止に最善を図りながら、新しく、WITH コロナ“そのきふれあいウォークラリー”を開催することが出来ました。本年へのイベントに繋げていきたいと思います。

さて本年は、「オミクロン株」など新規コロナウイルスの拡大如何によっては、コミュニティ協議会活動も制約されるものと思われます。ただ、待望の「曾野木コミュニティセンター（仮称）」がいよいよ夏までには完成予定です。隣接して「曾野木アルル保育園」は4月に開園致します。これらの完成を機に気分一新、皆様のお力をお借りしながら各種イベント・サークル・防災・福祉活動等の充実を図り、諸事業を推進する所存です。ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、一日も早い新型コロナウイルス感染症の収束と、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。令和4年 元旦



曾野木地区 秋のあいさつ運動 =運動強化期間=10月1日(金)~10月31日(日)

あいさつ運動（子供同士、子供と大人、大人同士）の輪を曾野木地区全体に広げましょう！
登下校時の子供の安全を地域住民みんなで守りましょう！

「あいさつ運動のぼり旗」の設置 設置期間：10月1日（金）～10月31日（日）

●あいさつ運動特別取り組み日・実施日：10月12日(火)～10月15日(金)●



曾野木中学校



曾野木小学校



東曾野木小学校

江南区長との懇談会 ※曾野木地区の諸課題について、2年ぶりの対面懇談会(9月28日)

1. 新潟・寺泊線と県道新潟亀田・内野線の道路整備
 - ①信濃川大橋東詰周辺の慢性的交通渋滞対策
 - ②JA前周辺の冠水対策
 - ③丸瀧新田地内の歩道未整備区間の整備
 - ④JA前周辺及び丸瀧新田地内道路の振動対策
2. 曾野木団地内バス運行路線等の道路改良
3. 区バス路線の見直し
 - ①コミセン開設に合わせた区バスの乗り入れ
 - ②区バスの恩恵を受けていない空白エリアの解消
 - ③近年利用者の多い南病院への延伸
4. 水害対策
 - ①楚川排水路のルート変更又は拡充
 - ②信濃川右岸堤防の強化

5. 大堀支線排水路（西側）の暗渠化及び有効活用
6. 指定避難場所（3校）の充実
 - ①浸水対策（最低1避難所は1階の利用を可能に）
 - ②太陽光発電装置の導入
 - ③断水時のトイレ対策
 - ④公衆無線LAN（Wi-Fi）の設置



密を避けるため双方とも少人数で実施

WITHコロナ“そのきふれあいウォークラリー”

●曾野木中学校を発着とするウォークラリー（ポイントごとに防災クイズ、ゲーム等を実施）●

* コロナの影響もあり、コースの短縮や参加者の制限などにより規模を大幅に縮小し実施。10月10日（日）



曾野木中学校（開会式）



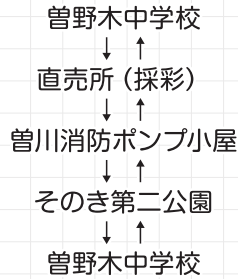
スタート



ポンプ小屋



クイズ正解者に特性マスク



直売所（採彩）



そのき第二公園

* コロナの影響を勘案し、5分間隔スタート、逆回りコースの設定

防災関連研修

コロナの影響もあり、防災訓練など防災関連施策が軒並み中止になっており、防災意識が低下している。

～防災の核要員である、安心安全部会と総務部会（自治会長）等がタイアップして、県内の防災関連施設で研修を開催。（参加者：20名）

・開催日：12月16日（木）

・研修先：赤渋河川防災ステーション⇒三条防災ステーション（三条市水防学習館）⇒おぢや震災ミュージアム“そなえ館”

水防関連研修



赤渋河川防災ステーション



三条市水防学習館

震災関連研修



おぢや震災ミュージアム“そなえ館”



七味の会と支え合いの仕組みづくり会議の意見交換会

ボランティア活動で感じることをテーマにグループ別意見交換会を開催
＝令和3年12月8日（水）＝
いくとぴあ食花センター



グループ別意見交換会模様

子どもの見守り活動（セフティスタッフ）

冬季間の子どもの見守り活動を円滑に実施するため、ベンチコートを購入（補助金活用）



曾野木小学校校門前の様子

曾野木地区のマップ作成に向けたまち歩き

＝令和3年11月18日（木）＝
自治協（まちづくり部会）主催による曾野木地区内の名所・旧跡等をまち歩き

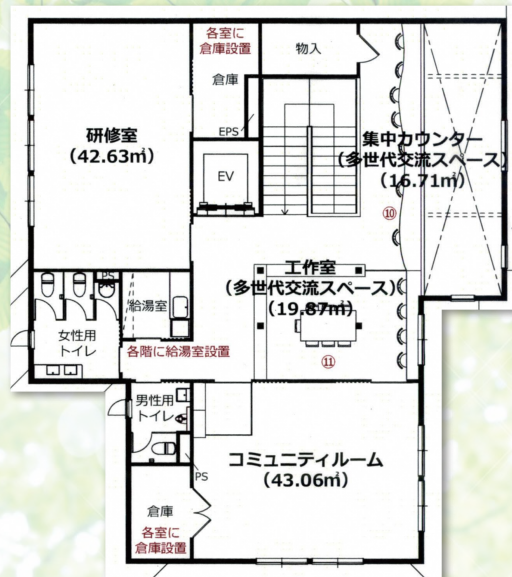
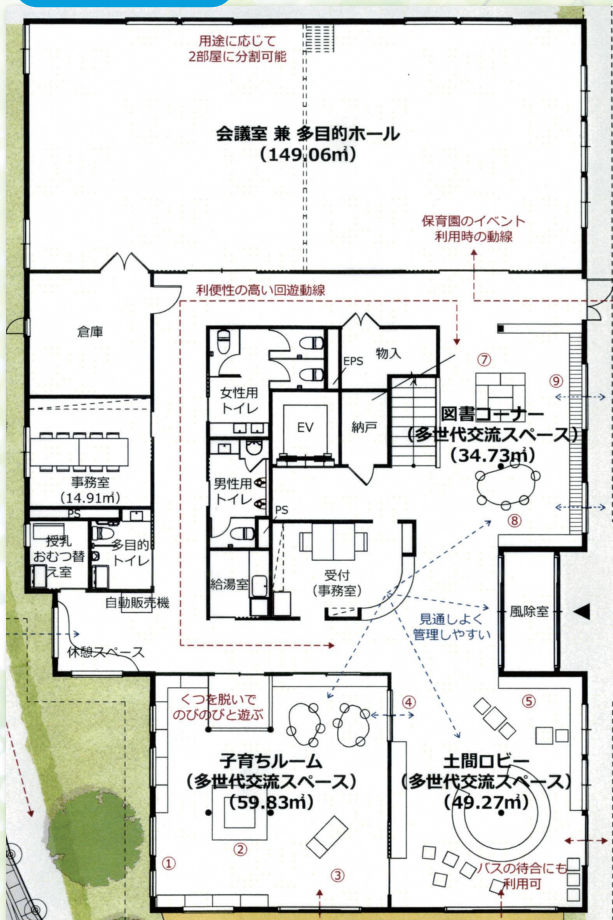


まち歩きのスタートは、天野河川防災ステーション（建設中）から

建設中の曾野木コミュニティセンター(仮称)

令和4年夏までの完成に向け工事も急ピッチ。完成時のレイアウトを紹介します。

1階レイアウト



2階レイアウト

地域コミュニティ協議会とは?

「コミュニティ協議会」について、どんな組織？活動内容は？・・・等の声があることから、今後、数回に分けてQ&A形式で掲載します。

2回めの今回は、曾野木地区コミュニティ協議会の会員を紹介します。

地域コミュニティ協議会

自治会
町内会

PTA

青少年育成
協議会

等

民生・児童
委員協議会

【具体的な活動例】

- ・通学路に安全標識の設置
- ・親子の居場所事業の実施
- ・高齢者の見守り支援 等

曾野木地区コミュニティ協議会会員名簿

R3.4.1 現在

No	団体名	No	団体名
1~26	各自治会 (26自治会)	41	曾野木地区老人クラブ協議会
27	曾野木団地自治連合協議会	42	曾野木地区防犯組合
28	曾野木小学校区スポーツ振興会	43	曾野木地区防災・防火連合会
29	東曾野木小学校区スポーツ振興会	44	江南地区交通安全協会曾野木支部
30	曾野木地区青少年育成協議会	45	曾野木地区交通安全推進協議会
31	曾野木中学校PTA	46	新潟市消防団江南方面隊曾野木分団
32	曾野木中学校地域教育コーディネーター	47	曾野木地区防災士会
33	曾野木小学校PTA	48	曾野木地区公園愛護連絡協議会
34	曾野木小学校地域教育コーディネーター	49	曾野木地区農業委員会
35	東曾野木小学校PTA	50	曾野木地区住みよい郷土推進協議会
36	東曾野木小学校地域教育コーディネーター	51	新潟市農業協同組合南部支店
37	曾野木地区社会福祉協議会	52	曾野木商工会
38	日赤新潟市江南区地区曾野木分団	53	亀田郷土地改良区曾野木工区
39	曾野木七味の会	54	ふれあい曾野木まつり実行委員会
40	曾野木地区民生委員児童委員協議会	55	曾野木地区若手交流会



ホームページを開設しました！是非ご覧下さい。

曾野木地区コミュニティ協議会

URL: <https://sonoki-comikyo.1net.jp>





曾野木の神社

意外に神社の数が日本一多いのは新潟県。背景としては、①明治時代に新潟の人口が日本で最も多く、集落ごとに神社ができたのではないかと。②合祀(ごうし)政策が進まなかった。などがあげられています。曾野木地区も集落ごとに数多くの神社が存在しています。中でも、個人の功績を称える神社が残っているのも特筆でしょうか。

集落名	神社名
天野	帝釈天(加藤神社)
	神明社
	稲荷神社
嘉木	諏訪神社
曾川	中央：諏訪宮
	左側：勘五郎社
	右側：神明宮
楚川	神明宮
俵柳	神明宮
	天神宮
祖父興野	諏訪社
久蔵興野	神明宮
太右工門新田	日枝神社
鐘木	神明宮
丸瀧新田	神明宮
	諏訪社
鍋瀧新田	神明宮

*神社名は、基本的には鳥居記載の名称を使用



▲天野の瀬替え工事完成に尽力した天野新田名主「加藤順蔵」を祭った神社(帝釈天)



▲朱色の鳥居が続く稲荷神社参道



▲用水開墾に功労があった「堀勘五郎」を祭った勘五郎神社



(勘五郎神社)

諏訪宮

(神明宮)

自治会紹介

俵柳自治会

自治会長 廣川 章

『俵柳』の地名の由来について、今までは蒲原平野の穀倉地帯の一角をなすところから米俵の「俵」と、水郷地帯には【柳】は切り離せない樹木で、柳は根を大きく張り堤防を強化してくれるところから、【俵柳】という地名になったのかと理解していました。ところが過日先輩から耳にしたことですが、嘗てこの地域は頻りに水害に見舞われていたようで、その都度決壊箇所を復旧するため、「俵」に土を入れた土嚢で決壊箇所の応急処置を頻りに行わざるを得なかったところから、【俵】がこの地域の特性を表現するのによいと判断されたのではないのでしょうか。これらが俵柳の由来のようです。

俵柳は1600年前後の慶長年間に開村したといわれています。当自治会は今では91世帯ですが、東・西の団地が開発される以前は40世帯足らずの小さい自治会でありながら2社の神社があります。これは地籍に飛び地があるために、それぞれ20世帯足らずの集落で五穀豊穡や度重なる水害から田地田畑を守るため建立されたのでしょう。一社は鐘木地内に“菅原道真”を祭神とする菅原神社(通称;天神宮)が1813年(文化10年)に創立されました。学問の神様を祀っているため受験シーズンともなると、小さな神社にもかかわらず、多くの受験生たちが周辺から祈願に詣でられます。もう一社は俵柳本内地内に“豊受大神”を祭神とする神明宮が1786年(天明6年)に創立されています。この年“田沼意次”が失脚し、浅間山大噴火の3年後でした。そして1889年4月1日、周辺の8村とともに曾野木村が発足、1957年5月3日新潟市に合併し現在に至っています。

小職が小学生の早春、柳に猫の肌のような花穂がつき枝をとって遊んだことを記憶しています。また当時は地域の皆さんの連帯感が強く、冠婚葬祭があると【隣組】総出で葬祭や宴会の支度を手伝ったものでした。あれから半世紀人間関係が過疎になりつつあることに寂しいものがあります。

当自治会は農村部が30世帯強、新興団地が60世帯弱の構成ですが、とかく農村部と新興団地とで自治会運営に支障が生じているという声を耳にしますが、幸いに当自治会運営には皆さんにご理解・協力をいただき感謝しています。しかし自治会独自の講習会を企画しても参加には消極的で、企画に問題があるのでは？と頭を抱えていることも事実です。一方では恒例となっている、秋の一斉ごみ拾いでは全世帯の約半数の世帯の皆さんから参加していただいています。自治会内の皆さんの自然環境を大切にする精神の現れである感謝し、今後とも継続して実施していきたいものです。また防犯ボランティアネットワークにも登録し、タイムリーに横断歩道での児童の見守り活動で、地域防犯にも取り組んでいるところです。



R3.10 一斉ごみ拾い



R3.4 防犯パトロール